



船工房代表

宇宙航空研究開発機構 (JAXA)  
名誉教授・技術参与

## [対談] 小川三夫 & 的川泰宣

糸川英夫と西岡常一——。「日本宇宙開発の父」「最後の宮大工」と称された偉大な師に、弟子は何を学んだか。宇宙開発と伝統寺社建築という対照的な世界に身を置きながらも、互いに交流を重ね、師の精神を後世に伝えんとしてきた的川氏と小川氏に語り合っていた。

おがわ・みつお——昭和22年熊本県生まれ。41年熊本県立氏家高等学校卒業。44年西岡常一棟梁の内弟子となる。法輪寺三廂塔、薬師寺金堂、同西塔の再建に棟梁として従事。52年船工舎を設立。以後、全国各地の寺院の修理、改装、再建、新築の設計・施工・模写製作にあたる。平成19年船工舎設立30周年を機に棟梁の地位を後進に譲り引退。現在、船工房代表として建築設計などにあたる。著書に「棟梁」(文藝春秋)などがある。

またがわ・やすのり——昭和17年広島県生まれ。40年東京大学工学部航空学科学部工学コース卒業。45年東京大学大学院工学研究科航空学科学専攻修士課程修了。大学院時代より科学振興のためのロケット及び人工衛星の飛翔計画の策定に従事し、人工衛星打ち上げ用ロケットの設計に携わってきた。平成20年NPO法人「子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)」を設立し会長に就任。著書に「やんちゃな独創糸川英夫伝」(日刊工業新聞社)など多数。

# 我が師の精神を継ぐ

糸川英夫博士  
西岡常一棟梁  
の教え



糸川英夫

糸川英夫——昭和9年、千葉県原田町で、信口トクマルの長子として生まれる。昭和15年、東京大学工学部航空学科学部工学コース卒業。昭和17年、東京大学大学院工学研究科航空学科学専攻修士課程修了。昭和20年、NPO法人「子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)」を設立し会長に就任。著書に「やんちゃな独創糸川英夫伝」(日刊工業新聞社)など多数。



西岡常一

西岡常一——明治31年、千葉県原田町で、信口トクマルの長子として生まれる。昭和15年、東京大学工学部航空学科学部工学コース卒業。昭和17年、東京大学大学院工学研究科航空学科学専攻修士課程修了。昭和20年、NPO法人「子ども・宇宙・未来の会(KU-MA)」を設立し会長に就任。著書に「やんちゃな独創糸川英夫伝」(日刊工業新聞社)など多数。